

# Workspace ONE UEM コンテンツ管理ガイド（初級編）

Workspace ONE UEM 2011 Web UI ベース

2021 年 1 月 13 日  
株式会社ウィザース

## 改訂履歴

ver.	発行日	改訂履歴
1.00	2013 年 11 月 20 日	初版発行
2.00	2014 年 01 月 07 日	下記 2 章にライセンスが必要であることを追記 AirWatch Secure Content Locker Collaborate ライセンス  8 AirWatch Sync と AirWatch SSP(セルフサービスポータル) 9 デバイスからのメディアアップロード機能  8 章の文頭の一行目について AirWatch Sync のインストール先について記載が足りなかった ので追記
3.00	2014 年 3 月 25 日	7.0 対応版発行
4.00	2014 年 10 月 7 日	7.2 対応版発行
5.00	2015 年 1 月 14 日	7.3 対応版発行
6.00	2015 年 7 月 29 日	8.0 対応版発行
7.00	2016 年 1 月 29 日	8.2 対応版発行
8.00	2016 年 7 月 22 日	8.3 対応版発行
9.00	2016 年 10 月 5 日	8.4 対応版発行
10.00	2017 年 4 月 24 日	9.0 対応版発行
11.00	2018 年 8 月 28 日	Workspace ONE 9.5 対応版発行
12.00	2019 年 3 月 1 日	Workspace ONE 18.11 対応版発行
13.00	2019 年 11 月 8 日	Workspace ONE UEM 1909 版発行
14.00	2021 年 1 月 13 日	Workspace ONE UEM 2011 版発行

※バージョン 9.4 より、コンソールの名称が " AirWatch Console " から " Workspace ONE UEM Console " に変更されました。

## 目次

<b>1</b>	<b>本書について</b> .....	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>ご利用にあたっての準備</b> .....	<b>2</b>
2.1	管理コンソールでの事前設定.....	4
<b>3</b>	<b>カテゴリの管理</b> .....	<b>5</b>
3.1	カテゴリの作成.....	5
3.2	カテゴリの編集.....	7
3.3	サブカテゴリの追加.....	8
3.4	カテゴリの削除.....	8
<b>4</b>	<b>コンテンツを追加</b> .....	<b>9</b>
4.1	コンテンツのアップロード.....	9
<b>5</b>	<b>コンテンツの情報を編集</b> .....	<b>14</b>
5.1	コンテンツの情報を編集する画面.....	14
<b>6</b>	<b>コンテンツの管理</b> .....	<b>18</b>
<b>7</b>	<b>Workspace ONE UEM 2011 での変更点</b> .....	<b>19</b>
<b>8</b>	<b>コンテンツ・リポジトリ</b> .....	<b>20</b>

# 1 本書について

Workspace ONE (AirWatch)の機能の一つである VMware Workspace ONE Content (以下、Content) を Web コンソール内で管理する方法についてまとめた利用ガイドとなっております。本書に記載のない手順については、以下の別資料をご参照下さい。

管理者向けメーカーガイド

<https://docs.vmware.com/jp/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/MCM/GUID-AWT-MCM-INTRO.html>

ユーザー向けメーカーガイド

[https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Content\\_Android\\_User\\_Guide/GUID-48F7E623-4261-4241-929E-E084C3B08067.html](https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Content_Android_User_Guide/GUID-48F7E623-4261-4241-929E-E084C3B08067.html)

[https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Content\\_iOS\\_User\\_Guide/GUID-48F7E623-4261-4241-929E-E084C3B08067.html](https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Content_iOS_User_Guide/GUID-48F7E623-4261-4241-929E-E084C3B08067.html)

## 重要

VMware Workspace ONE は、個人コンテンツとその関連機能のサポート終了 (EOL) 日が 2020 年 1 月 3 日になることを発表しました。詳細は下記 URL に記載されている内容をご確認ください。

<https://kb.vmware.com/s/article/2961480?lang=ja>

個人コンテンツとその関連機能のサポート終了に伴い、Workspace ONE UEM 2011 コンソールから個人コンテンツとその関連のメニューが削除されました。

## 2 ご利用にあたっての準備

Content 対応しているデバイス(スマートフォン、タブレット)と利用可能なドキュメントの種類は下記になります。

サポートするファイルタイプ	iOS	Android
AD-RMS	○	○ v3.5+
AAC (オーディオ/aac)	○	○
ALAC (オーディオ/m4a)	○	○
WAV (オーディオ/wav)	○	○
MP3 (オーディオ/mpeg)	○	○
MOV (ビデオ/quicktime)	○	○
MP4 (ビデオ/mp4)	○	○
M4B, M4R,	○	
M4V	○	○
CSV (.csv)	○	○
ePub (.epub)	○	
iBooks		
iWorks - Keynote (.key) アプリケーション	○	
iWorks - Numbers (.numbers) アプリケーション	○	
iWorks - Pages (.pages) アプリケーション	○	
MS Office - Excel (.xls/.xlsx) アプリケーション	○*	○*
XLSM	○	○
MS Office - Powerpoint (.ppt/.pptx) アプリケーション	○*	○*
PPTM	○	
MS Office - Word (.doc/.docx) アプリケーション	○*	○*
DOCM	○	
MS Office - パスワード保護	○*	○
MS Office - ピボットテーブルを使用したドキュメント	○	○
HTML (.html) テキスト/html	○	○
PDF (.pdf) /アプリケーション/pdf	○*	○*
リッチテキスト方式 (.rtf) アプリケーション/rtf	○	○
リッチテキスト方式ディレクトリ (.rtfd) アプリケーション	○	

サポートするファイルタイプ	iOS	Android
XML (.xml) アプリケーション/xml	○	○
PNG (.png) 画像/png	○	○
JPG (.jpg) 画像/jpeg	○	○
TIF (.tif, .tiff) 画像/tif	○	○
Bitmap (.bmp) 画像/bmp	○	○
GIF (.gif) 画像/gif	○	○
Zip (.zip) アプリケーション/zip	○	○
パスワード保護 Zip	○	○
RAR (.rar) アプリケーション/rar	○	
パスワード保護 RAR		
GZIP (.gzip) アプリケーション/zip		
BZIP (.bzip) アプリケーション/zip		
BZIP2 (.bzip2) アプリケーション/zip		
TAR (.tar) アプリケーション/zip		
TXT	○*	○*
MSG	○	

\*編集機能をサポートするファイルタイプ

2021年1月現在

## 2.1 管理コンソールでの事前設定

Content の利用開始にあたり、管理コンソールでの事前設定が必要になります。事前設定を行っていない場合、iOS 版 Content が意図しない設定として動作する場合があります。

グループと設定 > すべての設定 > コンテンツ > アプリ > Workspace ONE Content アプリ をクリックします。



項目 (* 必須)	設定する値
① 現在の設定	「オーバーライド」を選択します。
② プラットホーム	「Apple」が選択されていることを確認します。
③ アプリケーション名	「VMware Content Locker@Global」を選択されていることを確認します。 ※ 「Legacy Content Locker@Global」は <u>選択しないでください</u> 。
④ 保存	設定内容を保存します。

## 3 カテゴリの管理

VMware Content Locker は管理コンソール・メニューの「コンテンツ」で管理します。  
最初にコンテンツを分類する「カテゴリ」を作成します。

### 3.1 カテゴリの作成

- 1) コンテンツ > Content > カテゴリ をクリックする。



画面が表示されます。

以下はカテゴリが作成されている場合です。まだ作成されていない場合は▼が表示されません。

- ▼が右を向いている時はクリックします。



- ▼が下を向き、カテゴリが表示されます。





2) **カテゴリの追加**をクリックする。



3) 各項目の情報入力を行い、**保存**をクリックする。



項目 (* 必須)	設定する値
管理元*	クリックすると <b>組織グループ</b> が表示されます。任意の <b>グループ</b> を選択します。
名前*	簡単に <b>認識可能な名前</b> を設定します。
説明	分類しやすいように、 <b>保存するファイルの種類、用途等</b> を入力してください。

**カテゴリ**が作成されます。



## 3.2 カテゴリの編集

1) アクションの編集をクリックして、作成済みのカテゴリを変更します。



2) カテゴリを編集画面が表示されます。変更して保存をクリックします。



### 3.3 サブカテゴリの追加

アクションの追加(+ボタン)クリックで、カテゴリ内にサブカテゴリを作成することができます。



#### 重要

既にコンテンツが追加されているカテゴリは、サブカテゴリを作成できません。

カテゴリの追加画面が表示されます。

入力項目は 3.1 カテゴリの作成 2)と同様です。

最初に選択したカテゴリの下位にサブカテゴリが追加されます。



### 3.4 カテゴリの削除

アクションの削除をクリックすることで、カテゴリを削除できます。



#### 重要

カテゴリ内にコンテンツやサブカテゴリが存在する場合は、削除できません。

## 4 コンテンツを追加

デバイスへコンテンツを配布するため、コンテンツをカテゴリへアップロードします。

### 4.1 コンテンツのアップロード

1) **コンテンツ** > **リスト表示** をクリックします。



2) **コンテンツを追加** をクリックする。

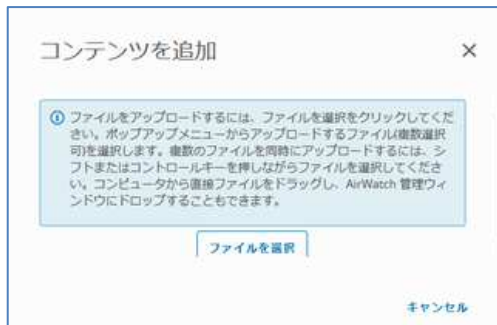


任意のファイルを管理コンソールのコンテンツリスト内へ**ドラックアンドドロップ**することでもアップロードを行うことができます。



※**ドラックアンドドロップ**でファイルをアップロードした場合は下記3)の手順は省略されます。

3) **ファイルを選択** をクリックする。



アップロードする任意のファイルを選択し、**開く** をクリックします。

4) **コンテンツ** の情報画面が表示されるので必要情報を入力する。

コンテンツを追加 - Workspace\_ONE\_UEM\_1811\_アップデート\_20190305

情報 詳細 セキュリティ 割り当て 展開

名前\* Workspace\_ONE\_UEM\_1811\_アップデート\_20190305

カテゴリ\* カテゴリを選択するには入力を開け

組織グループ wzaas.co.jp

ファイル Workspace\_ONE\_UEM\_1811\_アップデート\_20190305

ストレージの種類 UEM 管理対象

バージョン\* 1.0

説明

重要度 高 普通 低

保存 キャンセル

項目 (* 必須)	設定する値
タブ	クリックすると、 <b>機能別</b> に設定項目が表示されます。
名前*	簡単に認識可能な名前を設定します。
組織グループ	<b>変更不可</b>
ファイル	アップロードしたファイル名が表示されます。 <b>変更不可</b>
ストレージの種類	<b>変更不可</b>
バージョン*	コンテンツの更新時にわかりやすい値を設定します。
説明	任意で設定します。
カテゴリ*	クリックして表示されたリストから任意のカテゴリを選択します。
重要度	「 <b>高、普通、低</b> 」から選択します。
保存	設定内容を保存します。

5) **セキュリティ**を選択して必要項目を設定する。



項目(*必須)	設定する値
アクセスコントロール	下記から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフライン状態での閲覧を許可</li> <li>・オンラインの閲覧のみを許可</li> </ul>
Eメール内での開封を許可	未選択時、Eメールへの添付は不可になります。
サードパーティのアプリケーションでの開封を許可	未選択時、Content 以外でファイル表示はできません。
他のリポジトリへの保存を許可	当該コンテンツを他のリポジトリへ保存する事を許可します。
電子透かしを有効化	電子透かしの文字列を SDK プロファイルで有効に設定する必要があります。
印刷を許可	iOS デバイスから AirPrint 経由で、PDF ファイルのみ印刷可能です。
編集を許可	エンドユーザによる PDF ファイルへのコメント追加と MicrosoftOffice ドキュメントの編集が可能になります。

6) 割り当てを選択してデバイス**所有形態**を選択する。

コンテンツを追加 - vmware-airwatch-android-guide.pdf

情報 詳細 セキュリティ **割り当て** 展開

デバイス所有形態: 任意

組織グループ: ここに入力して新しいグループを追加

ユーザーグループ: ここに入力して新しいグループを追加

保存 キャンセル

デバイス所有形態	下記から選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 任意</li><li>• 企業—共有</li><li>• 企業—専用</li><li>• 従業員所有</li><li>• 未定義</li></ul>
----------	---

7) **展開**を選択して下記の項目を設定する。

コンテンツを追加 - vmware-airwatch-android-guide.pdf

情報 詳細 セキュリティ 割り当て **展開**

転送方法: 任意

ローミング中のダウンロード:

ダウンロードタイプ: ① オンデマンド

ダウンロードの優先度: 高

必須:

特異コンテンツ:

有効日: ② 2018/08/27 ①

有効期限日: ③ YYYY/MM/DD

保存 キャンセル

項目 (任意)		設定する値
①	ダウンロードタイプ	下記から選択します。 ・オンデマンド ・自動
②	有効日	コンテンツの公開日を指定します。 指定日の 00:00 以降に <b>Content</b> ログイン後、コンテンツリスト上に 対象コンテンツの項目が表示され、閲覧が可能となります。  未来の日付を指定することで、運用上のスケジュールに合わせた コンテンツの順次公開を実施することが可能となります。 →上記の場合、③適用日前に対象コンテンツがダウンロードされて もリスト状に表示されない状態となります。  ※①ダウンロードタイプに関わらず指定可能です。 ※指定値未入力の場合は、編集日当日より有効となります。 ※現在より過去の日付の指定はできません。
③	有効期限日	コンテンツの有効期限日を指定します。 指定日の 00:00 以降にて、 <b>Content</b> ログイン後に コンテンツリスト上から対象コンテンツの項目が削除されます。

8) 全ての設定完了後、**保存**をクリックする。

9) **新規コンテンツ**が追加されている事を確認します。

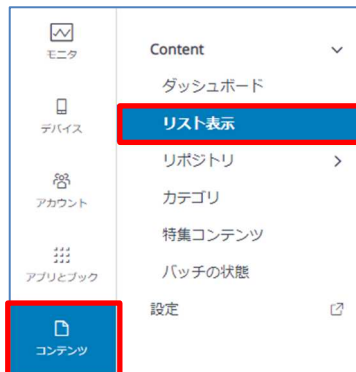




## 5 コンテンツの情報を編集

### 5.1 コンテンツの情報を編集する画面

1) **コンテンツ** > **リスト表示** をクリックします。



2) **作成済みコンテンツ**の左側にある**編集ボタン**をクリックする。



3) **コンテンツ** の情報を編集する画面が表示されるので各項目の入力を行う。

The screenshot shows a web interface for editing content. The title is 'コンテンツを編集 - vmware-airwatch-android-guide.pdf'. There are several tabs: '情報' (Information), '詳細' (Details), '以前のバージョン' (Previous Versions), 'セキュリティ' (Security), '割り当て' (Assignment), and '展開' (Deployment). The '情報' tab is active. The form contains the following fields:

- 名前\***: Input field containing 'vmware-airwatch-android-guide.pdf'.
- カテゴリ\***: Dropdown menu with a search icon and a 'sample' tag.
- 組織グループ**: Dropdown menu with 'numa04' selected.
- ストレージの種類**: Dropdown menu with 'AirWatch 管理' selected.
- バージョン\***: Input field containing '1.0'.
- 説明**: Text area for description.
- 重要度**: Radio buttons for '高' (High), '普通' (Normal), and '低' (Low). '普通' is selected.

Buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) are at the bottom right.

各タブをクリックすると、機能別に設定項目が表示されます。

#### 情報タブ

項目(*必須)	設定する値
タブ	
名前*	簡単に認識できる名前を設定します。
組織グループ	変更不可
ストレージの種類	変更不可
バージョン	コンテンツの更新時にわかりやすい値を設定します。
説明	任意で設定します。
重要度	「高、普通、低」から選択します。
カテゴリ*	クリックして表示されたリストから任意のカテゴリを選択します。

セキュリティ。

項目(*必須)	設定する値
アクセスコントロール	下記から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフライン状態での閲覧を許可</li> <li>・オンラインの閲覧のみを許可</li> </ul>
暗号化を強制	新規コンテンツ作成もしくは既存コンテンツのバージョンアップ時のみ、設定可能です。
Eメール内での開封を許可	未選択時、Eメールへの添付は不可となります。
サードパーティのアプリケーションでの開封を許可	未選択時、Content 以外でファイル表示はできません。
他のリポジトリへの保存を許可	当該コンテンツを他のリポジトリへ保存する事を許可します。
電子透かしを有効化	電子透かしの文字列を SDK プロファイルで有効に設定する必要があります。
印刷を許可	iOS デバイスから AirPrint 経由で、PDF ファイルのみ印刷可能です。
編集を許可	エンドユーザーによる PDF ファイルへのコメント追加と Microsoft Office ドキュメントの編集が可能になります。SDK ライブラリの有効化が必要です。

割り当て

デバイス所有形態	下記から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれか</li> <li>・企業—共有</li> <li>・企業—共有</li> <li>・従業員所有</li> <li>・未定義</li> </ul>
----------	---

展開

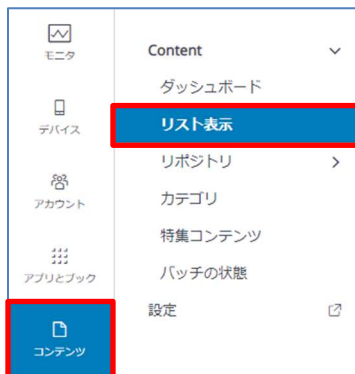
項目(任意)	設定する値
ダウンロードタイプ	<p>下記から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンデマンド</li> <li>・自動</li> </ul>
有効日	<p>コンテンツの公開日を指定します。</p> <p>指定日の 00:00 以降に <b>Content</b> ログイン後、コンテンツリスト上に対象コンテンツの項目が表示され、閲覧可能となります。</p> <p>未来の日付を指定することで、運用上のスケジュールに合わせたコンテンツの順次公開を実施することが可能です。</p> <p>→上記の場合、③適用日前に対象コンテンツがダウンロードされてもリスト状に表示されない状態となります。</p> <p>※①ダウンロードタイプに関わらず指定可能です。</p> <p>※指定値未入力の場合は、編集日当日より有効となります。</p> <p>※現在より過去の日付の指定はできません。</p>
有効期限日	<p>コンテンツの有効期限日を指定します。</p> <p>指定日の 00:00 以降にて、<b>Content</b> ログイン後にコンテンツリスト上から対象コンテンツの項目が削除されます。</p>

4) 入力後**保存**をクリックして完了。



## 6 コンテンツの管理

1) コンテンツ > リスト表示 をクリックして、コンテンツの管理を行います。



2) コンテンツの選択ボタンをチェックするとメニューが表示されます。



項目	設定する値
① 選択	コンテンツを選択します。上段は一括選択です。
② 編集	コンテンツの各情報の編集を行い設定変更します。
③ デバイス表示	Content を介してコンテンツをダウンロードしたデバイス一覧を表示します。
④ バージョン追加	コンテンツが更新された場合、コンテンツの新バージョンを追加する機能です。ユーザーに自動的に通知されます。
⑤ ダウンロード	当該コンテンツをダウンロードします。
⑥ 特集コンテンツ	特集コンテンツに追加します
⑦ 必須コンテンツ	必須コンテンツに追加します。
⑧ 非アクティブ化	コンテンツをアクティブ化/非アクティブ化に切り替えます。
⑨ 削除	Content からコンテンツを削除します。(一括削除可)

## 7 Workspace ONE UEM 2011 での変更点

[レガシー設定とポリシー構成を使用] 機能については Workspace ONE UEM 2011 コンソールより削除されました。

グループと設定 > すべての設定 > コンテンツ > アプリ > Workspace ONE Content アプリをクリックします。

The screenshot shows the '設定とポリシー' (Settings and Policy) page for the 'Workspace ONE Content' application. At the top, there are two buttons for 'アプリのプロファイル' (App Profile): '既定' (Default) and 'カスタム' (Custom), with 'カスタム' highlighted in red. Below this is a blue information box with a circled 'i' icon and the text: 'Content は選択されたプロファイルで定義された設定を使用します。[アプリ]>[設定とポリシー]>[プロファイル]と進んでプロファイルを作成してください' (Content uses settings defined in the selected profile. [App]>[Settings and Policy]>[Profile] and proceed to create a profile). Underneath are two dropdown menus: 'iOSプロファイル' (iOS Profile) set to 'iOS Default Settings' and 'Androidプロファイル' (Android Profile) set to 'Android Default Settings'. A red box highlights the 'レガシー設定とポリシーを使用' (Use Legacy Settings and Policy) checkbox, which is checked, with the text 'WS1 UEM 2011 コンソールから削除されました' (Removed from WS1 UEM 2011 console) in red. Below this is the '既定の認証方法\*' (Default Authentication Method) dropdown set to 'ユーザー名とパスワード' (Username and Password), with an 'iOS' button to its right. At the bottom, the '「サインイン状態を維持」を有効化' (Enable 'Maintain Sign-in State') checkbox is also checked.

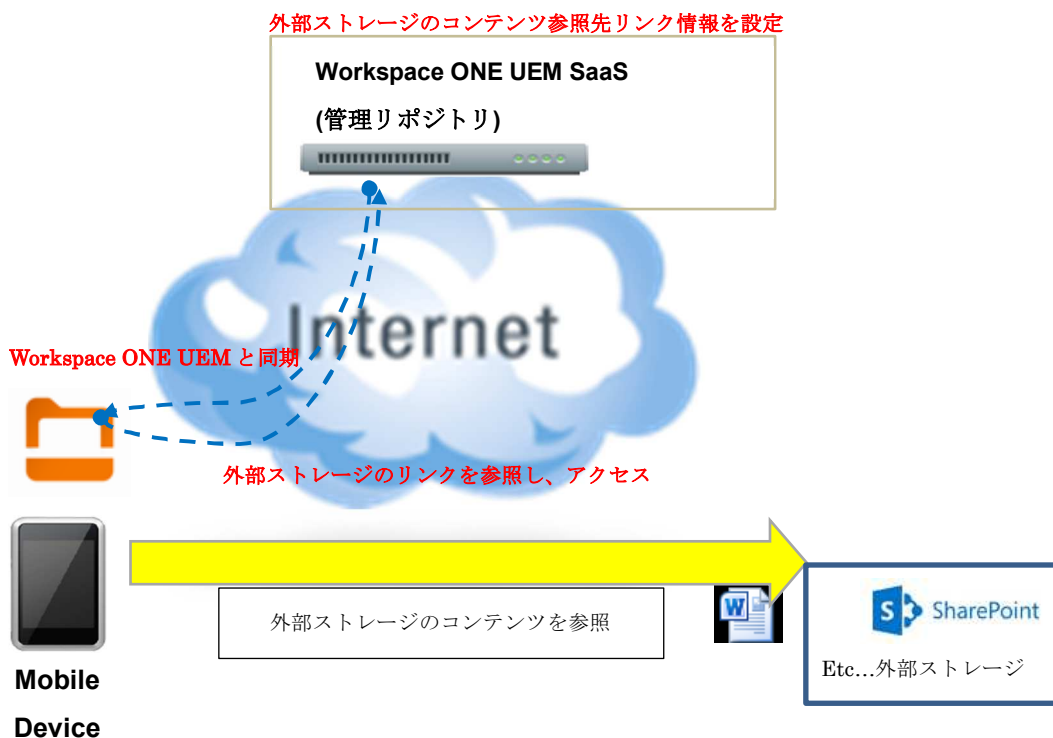
## 8 コンテンツ・リポジトリ

コンテンツ・リポジトリ機能を利用する事により、既存サーバーや外部サービスとも自動連携する事が可能となります。

例えば、

SharePoint、WebDAV などの社内ファイルサーバー連携

Office365、Google Drive、SkyDrive 等のクラウドストレージサービス連携



コンテンツ・リポジトリの追加、編集、削除手順及び外部リポジトリとの統合について手順などの詳細について [1 頁 管理者向けメーカーガイド] を参照下さい。

Workspace ONE UEM (AirWatch) コンテンツ管理ガイド

Workspace ONE UEM 2011

ver. 14.00 2021 年 1 月 13 日

#### ご注意事項

- この文書に記載された製品の仕様ならびに動作に関しては、各社ともにこれらを予告なく改変する場合があります。
- 本文中にあるシステム名、製品名、およびロゴ等は各社の商標または登録商標です。